

親子でほっとできる場所を目指して

2階遊戯室には、子連れスタッフも働いています。自分の子どもと一緒に出勤し、勤務しています。利用者さんと同じ子育て中ということもあり、「うちの子も一緒」「うちの子の時はこうだったよ」「こんな方法でうまくいったよ」という会話も聞こえてきます。利用者さんとスタッフがお互いに話し合うことで、悩み解消にもなっているようです。

2階遊戯室には、スタッフが2人と、子育てコーディネーターが1人常駐しています。子育ての悩みだけでなく、日常のなんでもない話や、テレビ番組の話でも、気軽に声をかけてください。時には、子どもたちと一緒に遊んだり、絵本を読んだりすることもあります。おすすめ絵本や、おもちゃの遊び方の紹介もできます。

利用者さんがちょっとほっとできて、子どもたちが楽しく遊べる。そんな場所を目指しています。そして、同じ子育て世代として利用者さんに寄り添いながら、子育てについて一緒に考えていきたいと思えます。

～高富児童館からのお知らせ～

ハローワークマザーズコーナー担当者の相談会

再就職について知りたいという人、気軽に参加してください。

▶日時 11月8日(木) 10時～14時

※1人20分程度の相談になります。

また、お子さんを遊ばせながらの相談になります。

▶申込締切 11月6日(火)

※申し込みの際に、希望の時間をお知らせください。



地域包括支援センターだより

認知症サポーター養成講座 ～認知症について理解を深め、地域で支えよう！～

●今後、約4人に1人が認知症になる時代!?

超高齢社会を迎えている中で、重要な課題となっているのが**認知症**です。65歳以上になると約4人に1人が認知症の予備軍もしくは認知症であるといわれています。その数は今後も増え続けると予想されています。たとえ認知症になっても、自分らしく安心して暮らし続けたいと思いませんか。

●認知症サポーターってなあに?

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、そっと手助けをする**応援者**の事です。一人一人の小さな心配りや見守りが地域の大きな力となります。

●皆さんも、サポーターになって地域を支えよう!!

現在、山口市では1,628人が受講され、認知症サポーターとなって家庭で、地域で、それぞれができる範囲で活動しています。山口市の高齢者福祉計画では、平成31年度までに1,800人のサポーター登録を目指しています。

市民公開講座を開催します！

やまがた健康・介護フェスタで「認知症サポーター養成講座」を行います。分かりやすい内容で開催しますので、ぜひ受講してください。受講者にはオレンジリングをプレゼントします。

みんなでオレンジリングをつけて、一緒に地域を支えていきましょう。

▶日時 11月11日(日) 1回目 10時30分～

2回目 13時30分～(各1時間程度)

▶場所 保健福祉ふれあいセンター(市役所東側)

オレンジリング



山県市自慢の学校給食 ～おすすめメニュー～

マーボーナス 「麻婆茄子」



市内すべての小・中学校は、自校で給食を調理して、全校児童・生徒がランチルームに集まり、みんなで温かい給食を食べています！

- ▶材料(5人分) (1人当たり 164kcal)
- | | |
|-------------------|--|
| ナス……………300g(大3本) | 片栗粉…………… 9g |
| サラダ油……………適量 | ごま油……………少量 |
| 豚ひき肉…………… 100g | |
| すりおろしショウガ… 5g | 調味料
赤みそ…………… 15g
しょうゆ…………… 10g
砂糖……………7.5g
酒、中華スープの素… 3g
とうぼんじャン
豆板醤…………… 3g |
| すりおろしニンニク… 2.5g | |
| ニンジン…………… 1/2本 | |
| たけのこ(水煮)…………… 50g | |
| ピーマン…………… 1個 | |

- ▶作り方
1. ナスは乱切りにし素揚げするか、多めの油で炒め、皿に取り出しておく。
 2. サラダ油をひいたフライパンに、ショウガ、ニンニク、豚ひき肉を入れよく炒める。
 3. 2に、いちよう切りにしたニンジンとたけのこを入れ炒める。
 4. 調味料をよく混ぜ合わせ、3に入れ煮込む。
 5. 乱切りし、下ゆでしたピーマンと、取り出しておいた1を加え、水溶性片栗粉を入れとろみをつける。
 6. 仕上げにごま油をかけ完成。



市無形民俗文化財調査報告書は、市内の小中学校、図書館、中央公民館、地区公民館に備えてあります。



- 実施主体 北山雨乞い太鼓・雨乞い踊り保存会
- 台公演(年一回)
- 市重要無形民俗文化財指定
- 指定日 昭和52年5月11日
- 実施日 8月16日(精霊送り)、重要無形民俗文化財舞

01 北山雨乞い太鼓踊り

山県市の祭りと民俗芸能

市内には、先人が築き、大切に守ってきた伝統的な祭りや民俗芸能などの無形民俗文化財が多数継承されています。こうした地域の宝である民俗芸能や行事について、「岐阜県山県市無形民俗文化財調査報告書」から紹介します。

圓生涯学習課 TEL22-6845

市最北部、北山地区の各集落では、1〜2個の締め太鼓と1個の鉦や笛を保有し、集落の民俗行事(雨乞い、虫送り、七夕送り、精霊送り)で叩いてきました。

現在「北山雨乞い太鼓踊り」として保存会が伝えている太鼓踊りは、神崎の太鼓踊りを引き継いだものです。首から提げた締め太鼓を左右に大きく振りながら叩くところに特徴があります。一方「雨乞い踊り」は、神崎や円原の雨乞いで踊られてきたもので、長い間中断し、昭和51年に復活しました。踊りは雨乞い歌に合わせて踊る素朴な踊りです。

神崎の雨乞いは、夏坂谷での雨乞いと、今島と円原の境にある峯山での雨乞いがあったと伝えられています。峯山(標高850m)の頂上付近の東方に、竜王が住むと伝えられる堅穴の鍾乳洞があり、雨乞い祈願の文書を墨書した祈願石を投げ入れ、周りがかり火をたき、般若心経を唱え、太鼓踊りと雨乞い踊りを踊りました。